

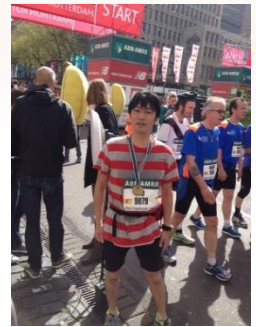
Windmolen



ロッテルダム日本人学校

谷崎 城

ロッテルダム街歩き



今年は春の訪れが早く、J S Rのチューリップも春休み中がピークでした。毎年4月に行われるロッテルダムマラソンは、一万を超える参加者がいる一大イベントです。沿道には多くの市民がランナーの応援に駆けつけ、大いに盛り上がっていました。私も、見知らぬオランダ人たちの熱い声援を受け、無事完走することができました。



さすが自転車大国。自転車用の信号もちゃんとあります。自転車道では、ジョギングやインラインスケートを楽しむ人々も多く見られます。中心街で、たまたまインラインスケートの大会に遭遇しました。何百人もの人々が縦横無尽に一般道を走っていく様は圧巻でした。



世界ではじめての歩行者天国という『ラインバーン商店街』。休日には多くの人々で賑わいます。そして、ロッテルダムの象徴『エラスムス橋』。印象的な斜張橋です。街を歩いているとコーヒーショップを見かけますが、ここでコーヒーは飲めません。ここで売っているのは大麻です。入口付近から、特有の煙の匂いが漂ってきます。気をつけてください。



フラークという地区では毎週火曜と土曜に朝市が開かれています。トムとジェリーにでてくるような穴あきチーズも売っています。八百屋さんや雑貨屋さんなど、いろいろな店が出店しています。私は、行きつけの魚屋でいつもサバを買っています。弁当には毎日サバです。

朝市の近くに『キューブハウス』という変わった建物があります。実際に人が住んでいて、一部はホテルになっているので泊まることもできます。

H E M Aという雑貨系スーパーで、おもしろい看板を発見しました。今にも漏れそうです。



ユーロマストには、ユーロスコープと呼ばれるガラス張りのエレベーターがあり、展望台から塔の周りを回転しながらさらに上昇していくので、360度の景色を座りながら楽しむことができます。近くには、マース川の下をくぐる地下道の入口があります。



運河や湖には、いろいろな水鳥が生息しています。時には道路を横断することがあるので、車の運転には注意が必要です。私の家のそばにトラムの車庫があり、たまにここからレトロな車両が出動していきます。こういった日に運行されるのかは不明ですが…。右端の写真は、サッカーワールドカップ期間中のカフェでの一コマ。国のシンボルカラーであるオレンジ色のものを身に着けて大型スクリーンで観戦。ゴールの度に盛り上がっていました。



ロッテルダムから少し足をのばすと、世界遺産にもなっている有名な『キンデルダイク』があります。ここには19基もの風車が残っており、オランダでも指折りの観光スポットです。車で向かう途中、道路が空に向かって延びていました。橋が上がっていたのです。“オランダあるある”ですね。